

華麗なるステージを



2月15日(木)、「稚内サハリン館」が稚内副港市場にオープン。

今年も友好都市のユジノサハリンスク市から「ルースキーターレム」の皆さんが来てくれました！ロシア民謡や舞踊のほか、日本語で歌を披露するなど、楽しいステージが繰り広げられました。

映画「北の桜守」～ひと足お先に～

2月3日(土)、3月に全国公開される映画「北の桜守」の先行上映会が、総合文化センターで行われ、主演の吉永小百合さんが「この作品を大好きな北海道、そして稚内で撮影できたことは本当にうれしいことです」と集まった大勢の市民を前に舞台挨拶を行いました。

上映会では、市民エキストラが参加したロケの映像などが随所に見ることができ、訪れた市民らはひと足先に映画を楽しんでいました。

映画「北の桜守」は3月10日(土)から全国公開！ぜひ、映画館まで！



みんなで鬼を追い払え！



2月2日(金)、稚内富岡幼稚園で「節分豆まき」が行われました。鬼退治に集まった園児たち175人は、目の前に大きな鬼が現れると、怯むことなく紙を丸めた豆で「鬼は外！」と一斉攻撃。

ようやく鬼を追い払い、たくさん福を呼び込んでいました。

ズームアップ

学びがいっぱい！ 生涯学習フェスティバル

2月18日(日)、総合文化センターで「生涯学習フェスティバル」が開催されました。

会場には、お茶や生け花、水彩画、オリジナルキーホルダーづくりなど、数種類の体験コーナーが用意され、多くの家族連れで賑わっていました。

初登場のロボット操作が体験できるコーナーでは、稚内北星学園大学の学生たちが、丁寧に操作方法を説明。子どもたちの人気を集めていました。そのほか、大ホールでは団体やサークルが踊りや歌を披露するなど、日頃の学びの成果を発表し、訪れた人々を楽しませていました。



稚内中学校での様子



稚内東小学校での様子

1月27日、稚内中学校での講演では、2年生を対象に高橋裕貴医師が、学生時代のバドミントンの経験を例に挙げ、「努力と色々な工夫で、出来なかったことも

2月13日は稚内東小学校で開催。高橋医師をはじめ、矢口陽介医師、寺林博之医師の3名が講師を務め、人の臓器にちなんだクイズを通して交流したほか、子どもたちからの質問にも答

この講演会は、実際に医療の現場で活躍している医師が、市内小中学校で講演を行うことで、医師の職業を身近に感じてもらう、将来、地域医療を担う子どもたちを育成することを目的に昨年度から実施しているもので、今回は、稚内中学校と稚内東小学校で開催しました。

出来るようになる。その成功体験を忘れないこと。そして、その過程を大事にしてほしい。そのことが自信になり、次の自分の課題を乗り越えていく力になる」と、やさしく語りかけ、高校受験を来年に控えた生徒たちは、真剣なまなざしで耳を傾けていました。

地域医療を考える稚内市民会議では、将来、地域医療を担う子どもたちを育成することを目的に、市立稚内病院の研修1年目の医師を講師として、「夢は医者！☆未来を拓く講演会を開催しています。」

地域で支えよう！ 「最北の医療」



「なぜ医師を目指そうと思ったの？」という質問に矢口医師は「高校生の時、アフリカに行った経験があり、そこで貧しい子どもたちを見て、人のためになる仕事をしたいと思った」、寺林医師は「高校の授業で京都大の山中伸弥先生の論文を読み、それ以来、ずっと山中先生に憧れ、医師を目指した」と、それぞれ医師を目指したきっかけについて話しました。

「医師になるにはどうしたら良いの？」などの質問には、必要となる学習や大学のことなど丁寧に答え、終始、和やかな雰囲気で行われました。

最後に「勉強を頑張ることとは、選択肢を広げることには繋がる。勉強だけではなく違う分野だったとしても何かひとつ自分はこれをやり遂げたんだ！と言えるものをつくって欲しい」と今日の講演を聞いて、医者になって、いつか、一緒に働くことが出来れば嬉しい。みなさん頑張ってください」と、6年生63名にエールを送りました。

地域医療を考える稚内市民会議では、今後もこの取り組みを継続していきます。

(市地方創生課)